

茨城県農業信用基金協会

[法人の概要]

平成16年7月1日現在

代表者名	会長理事 前島 雅光 (非常勤)	所管部(局)課	農林水産部 農業経済課	
所在地	茨城県水戸市梅香1丁目1番4号	電話番号	029 - 232 - 2288	
ホームページURL		E-mailアドレス	ibanoshinki@ib-ja.or.jp	
資本金(基本財産)	3,626,830 千円	設立年月日	昭和37年2月5日	
主な出資者	出資順位	出資者名	出資額	出資比率
	1	茨城県信用農業協同組合連合会	719,550 千円	19.8 %
	2	茨城県	694,980 千円	19.2 %
	3	全国農業協同組合連合会	202,640 千円	5.6 %
	4	北つくば農業協同組合	155,730 千円	4.3 %
	5	稲敷農業協同組合	128,810 千円	3.6 %
	その他	135 団体	1,725,120 千円	47.6 %
設立的	昭和36年に制定公布された「農業基本法」に基づき「農業近代化資金助成法」が制定され、農業近代化資金の貸付に対する信用補完を図り、融資の円滑化を図ることを目的に協会が設立された。その後、農業信用保険制度の創設(昭和41年)、幾度かの制度の改正・整備により、政策資金、各種資金の保証を行い今日まで信用補完機関としてその役割を果たしている。なお、県の出資に関しては、農業近代化資金の施策の一環(行政支援)として出資を受け(設立当初16,650千円)、その後制度の拡充・拡大にともない現在に至っている。さらには、平成14年度から担い手向け制度資金の再構築を行う中で、機関保証の充実を図ることとして基金協会の財務基盤を強化するため特別準備金が創設された。			

[事業の概要]

事業名	平成16年度事業費	内容
事業1 保証業務	2,196,390 千円	会員たる農業者等が農業近代化資金、農業改良資金、就農支援資金のほか、農業者等の事業または生活に必要な資金を借り入れることにより、融資機関に対して負担する債務の保証と付帯する業務。
事業2 促進業務	10 千円	農業経営基盤強化促進法等の認定を受けた者に対し当該認定に係る計画を円滑に達成するのに必要な資金の貸付を行う融資機関に対する当該貸付に必要な資金の供給と付帯する業務。
事業3	千円	

[組織]

7月1日現在の人数	年度	平成14年			平成15年			平成16年		
		県派遣	県OB		県派遣	県OB		県派遣	県OB	
役員	常勤理事	1	0	1	1	0	1	1	0	0
	非常勤理事	10	1	0	9	1	0	10	1	0
	常勤監事	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	非常勤監事	3	1	0	3	1	0	3	1	0
	計	14	2	1	13	2	1	14	2	0
職員	管理職	7	0	0	7	0	0	6	0	0
	一般職	11	0	0	11	0	0	11	0	0
	臨時職員	2	0	0	1	0	0	1	0	0
	嘱託職員	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	20	0	0	19	0	0	18	0	0
当期常勤職員の年齢構成	20代以下	30代	40代	50代以上	合計	平均年齢	平均勤続年数			
	8	3	2	5	18	37歳3月	10年6月			

[収支の状況]

茨城県農業信用基金協会

(単位:千円)

区 分		平成13年度	平成14年度	平成15年度
収 支 の 状 況	収入合計	2,218,639	2,276,280	2,332,753
	事業収入	2,218,639	2,276,280	2,332,753
	事業外収入	0	0	0
	支出合計	2,216,382	2,274,656	2,330,258
	事業支出	2,216,382	2,274,656	2,330,258
	事業外支出	0	0	0
	うち管理費	156,866	163,890	160,912
	うち人件費	144,113	139,478	156,248
	当期収支差額	2,257	1,624	2,495
	正味財産増加額	75,507	75,580	72,050
	正味財産減少額	0	0	0
	当期正味財産増減額	77,764	77,204	74,545
	前期繰越正味財産	5,138,726	5,216,490	5,293,694
期末正味財産	5,216,490	5,293,694	5,368,239	
財 産 の 状 況	資産	10,641,415	10,838,562	10,681,348
	流動資産	10,522,781	10,714,888	10,553,247
	固定資産	118,634	123,674	128,101
	負債	5,424,925	5,544,868	5,313,109
	流動負債	1,343,188	1,356,097	1,435,484
	うち短期借入金	0	0	0
	固定負債	4,081,737	4,188,771	3,877,625
	うち長期借入金	1,163,005	1,176,085	1,110,435
正味財産	5,216,490	5,293,694	5,368,239	

[財的関与の状況]

(単位:千円)

区 分		平成13年度	平成14年度	平成15年度
財 的 関 与 状 況	補助金	0	1,897	1,401
	委託金	0	0	0
	貸付金			
	計	0	1,897	1,401
	財政的関与の割合(%)	0%	0%	0%
	損失補償・債務保証			

[平成15年度の補助金等の目的・内容等]

支 出 項 目	目 的 ・ 内 容 ・ 効 果
補助金	平成15年度茨城県農業信用基金協会特別準備金積立補助金交付要綱に基づく、特別準備金積立事業で、担保や第三者保証人に依存せず融資(農業近代化資金・農業改良資金・就農支援資金・金融公庫資金・農業経営改善促進資金・農業経営負担軽減支援資金・畜産特別資金)が受けられるように機関保証を充実するとともに、財務基盤を強化する。
委託金	
貸付金	

[評点集計]

評価の視点	評価項目数	評点	満点	得点率
計画性	4	8	8	100.0%
目的適合性	5	12	14	85.7%
組織運営の適正性	4	5	8	62.5%
健全性	11	24	40	60.0%
効率性	8	10	28	35.7%
合計	32	59	98	60.2%

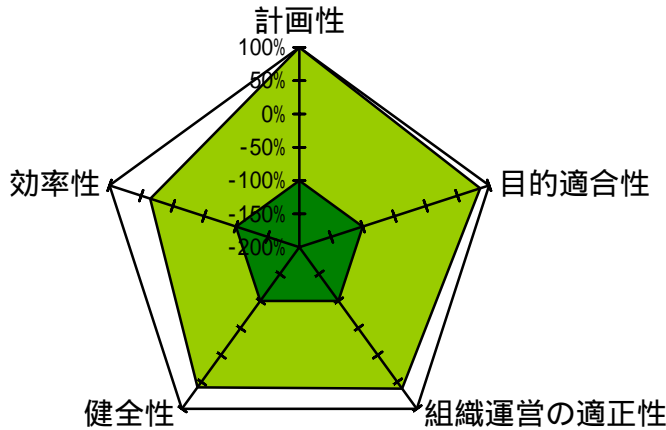
公益法人会計用

茨城県農業信用基金協会

警戒指標

--

経営評価レーダーチャート



(評価の視点)

計画性	経営目的、経営方針が各種計画に反映され、計画・実行・見直しが行われているか
目的適合性	法人が行っている事業と当初の設立目的が適合しているか
組織運営の適正性	組織、人事、財務等の内部管理体制が適切に整備・運用され、かつ情報公開による透明性の確保が適切か
健全性	法人の財務体質が健全であるか、また、各事業の採算性がとれているか
効率性	組織の管理運営上における人的・物的な経営資源が有効活用されているか

各評価項目については、「出資法人等経営評価指標及び評価基準等」を参照

[総合評価]

取組みを強化すべき視点	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">計画性</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">目的適合性</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">組織運営の適正性</div> <div style="border: 2px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">健全性</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">効率性</div> </div>
総合的所見等	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 2px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">概ね良好</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">改善の余地がある</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">緊急の改善措置が必要</div> </div> <p>財務内容については問題なく概ね安定した経営を行っているが、今後とも保証先に関する情報収集に努め、迅速かつ積極的な保証を推進し、農業金融の円滑化に寄与されたい。 また、求償権残高について、その回収に努めるとともに、引き続き適正な保証審査に努力されたい。</p>
総合的所見等に係る対応	<p>協会はJA巡回訪問等による保証制度の普及、債務者の実情に即した求償権の回収方策の策定に努めており、県は農業金融の円滑化を促進するため、引き続き保証の拡大、求償権残高の回収の徹底、保証審査の強化を進めるよう指導する。</p>

< 茨城県農業信用基金協会 から県民のみなさまへ >

農業者等(農協の正組合員および準組合員)が必要とする資金の融通を円滑にするため、保証機関としての役割を十分に果たし、もって県内農業の生産性の向上、農業経営の改善、生活の維持向上等に資するよう努めてまいります。

平成17年2月
茨城県農業信用基金協会
会長理事 前島 雅光

[法人の自己評価(経営概況, 経営上の課題, 対策等)]

計画性	目的適合性	組織運営の適正性	健全性	効率性
中期総合計画および年次別事業実績(見込みを含む)に基づき, 新事業年度の計画を策定。期中においては, 月次・四半期・半期の業務推移を捉えて計画達成に向けた対応策を実施。	農業制度資金および農協系統プロパーの農業資金に関して積極的に保証引受を行い, 農業者等が必要とする資金の円滑化に努めた。生活資金については, 住宅ローンの休日相談会へ参画するなど, 利用者ニーズに応えた。	コンプライアンス委員会を開催, コンプライアンスプログラムの制定, 反社会的勢力への取扱対応等を協議し法令遵守の浸透および徹底に努めた。人事考課制度を実施, 処遇の公正と職員資質向上に努めた。会員組織として市町村・JA等には運営に関する情報を提供, 今年度上期を目的にホームページ開設。	債務保証については, 全国機関への保険・再保証を行いリスクの分散を図っている。諸引当金については, 全額引当を実施。借入金については, 全国機関から政策に基づき各県協会へ配分されているもの(金利は日銀が公表する預金金利を基準に設定)。なお, 借入金返済能力については, 15年度は大口求償権償却を実施した結果期間が伸びた。	平成15年11月に茨城県オンラインJA信託事業システムの全国電算運営機構(ジャシステム)への移行に伴い保証業務システムを同運営機構へ移行しました。求償権の管理回収を強化するため, 新たな求償権管理回収システムおよび求償権管理回収システムと連動した経理システムの導入準備を行いました。職員一人当たり管理費のマイナス評点は職員の退職によるため。
今後の事業展開の方向	1. 中期総合3か年計画(平成16年度～平成18年度)の達成 (1) 保証業務の拡充 (2) 代位弁済の適正化と求償権管理の強化 (3) 財務内容の充実強化 (4) 業務運営体制の整備強化 2. 「農業信用保証保険法」の改正への対応 (1) 法改正に伴う監督基準および会計基準等への変更対応			

[法人を担当する課の意見]

計画性	目的適合性	組織運営の適正性	健全性	効率性
経営基本方針, 中期経営計画, 年次計画とも策定し, 数値目標を設定しており, 年次計画の差異の分析も定期的に実施し, 具体的な改善策を講じている。	当該団体は, 農業信用保証保険法第26条に基づき設立許可を受けた団体であり, 同法上の業務を行うことになっている。主な目的の農業近代化資金については, 平成15年度末で農業協同組合貸付残高の99.1%を債務保証しており, 目的に沿った業務を行っている。	人事考課制度の実施, コンプライアンスプログラムの制定をする等, 組織運営は概ね適正にされている。	15年度は, 2,495千円の当期利益を出し, 求償権償却引当金も基準以上の引当をしており, 概ね健全な運営をしている。	管理費の削減について電算処理システムの導入等工夫が見られる。今後さらに効率的な運営に努められたい。
第三次行財政改革大綱に係る取組状況	推進事項		取組み状況	
法人担当課の意見	電算処理システムの導入により, 事務処理の改善に努力が見られ, 債務保証については全国機関への保険, 再保証を行い, リスクの分散を図り, 諸引当金も全額引当を実施している。平成15年度については, 前年度に比べ保証残高は増加し求償権残高は減少しており, 概ね健全な運営をしていると考えられるが, 今後, 景気低迷等により将来の経営悪化が懸念されることから, 新規保証の拡大策, 求償権の管理・回収の徹底に努められたい。			